

伊藤敬三

「このごろ思うこと」

最近の新聞やテレビに依りますと、世界で主に三つの国で大きな混乱が起きている様です。

日本に住んでいると、想像を絶する混乱の様子でさながら戦国時代が、同じ地球上に存在した強大権力、君主官僚権力又は植民地旧宗主国等の権威秩序の崩壊消失によるのではないかと思います。多少解決の兆しの見えた地域もある様ですが、まだまだ道は遠いようです。

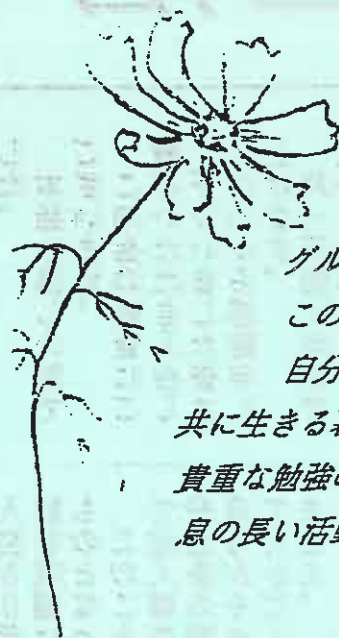
日本がその様に成らない事を切に望んでいますが、まあ、日本では起きないと、どなたも思われるでしょう。

では、日本と何処が、一体異なるのでしょうか。私は、私有財産を持ち得ないこと、官僚制度主導で、一般国民が何ら関与できない事等が影響しているのではないかと思ったりしています。

この会のように、公的機関が実施していることを、より高級に、より完全に、またより心のゆきとどいたサービスを、と心掛け全く国に頼りっきりでなく考え、地道に実行されている方々がいる国は将来安泰であろうと思っています。

(聖心堂医院院長)

ボランティア
コスモス



グループでボランティアを始めて3ヶ月。

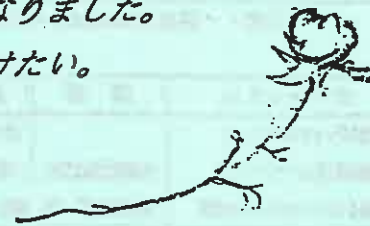
この間、いろいろな経験を積みました。

自分自身の老いを見つめ直して……

共に生きる暮らしを目指す私達にとって

貴重な勉強の場となりました。

息の長い活動を続けたい。



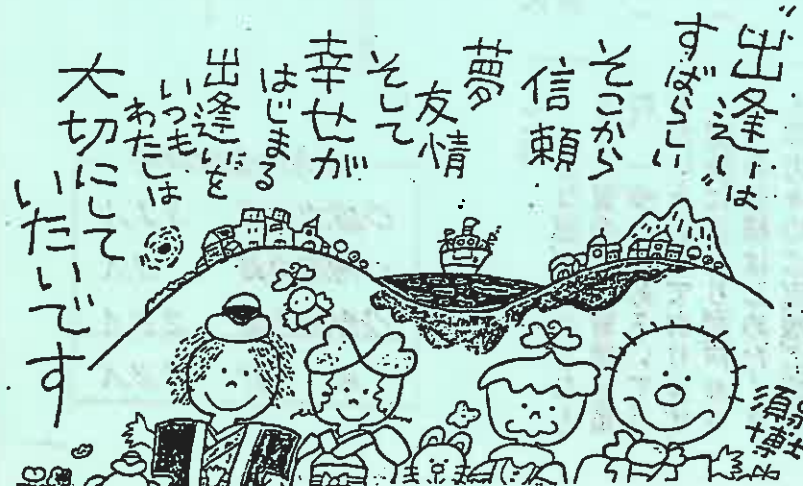
みんなの広場

「基礎知識を」

JRの普通列車を乗り継ぎ三時間かけて、人工関節の手術をした七十八才の姑を見舞う(現在は同居)私を、同室の彼女は、「遠くから、たいへんですね。」といつもねぎらってくれました。五十年代になったばかりの彼女は、リニューマテで、ほとんど寝たきりの状態でしたが、明るい声の持ち主でした。そんな彼女が、病状が悪化したのか、「痛い、痛い。」と言いつづけるようになりまし。看護の知識のない私は、物を手渡すことしかやってあげられませんでした。血縁者が集まれ、次に姑を見舞った時は、空きベットになつていました。老人介護の講習会のあるのを知った時、私は迷わず申し込みました。何もしてあげられなかった彼女への罪の償いでした。みましました。何かしてあげたい」という気持ちがあつても、無知であつたら、却って相手は迷惑です。基本的な知識をまず身につけて、それを基盤として、愛情豊かに、自分の個性を生かしつつ、お世話ができたら……と考えています。(東海記念病院人間ドック栄養相談員)

上野 友恵

いいことば



シリーズ・ちょっと一品

かぼちゃのたたき肉あん

この頃かぼちゃは年中八百屋さんの店頭でお目にかかりますが今が旬。カロチンも沢山含まれており、夏物の緑黄色野菜として大いに食したいものです。とは言え、小人数の家庭では一度に食べきれないと思います。そんな時、ちょっと目先を変えて……

◆材料(2人分)

- ◆ かぼちゃ煮たもの六切位(なるべくうす味)
- ◆ 豚もも薄切肉 100g
- ◆ あん(水1/2cup、しょう油 小さじ2、みりん大さじ1、片くり粉小さじ1強)

◆作り方

- (1) 豚肉はすりこぎでよくたたき、ざっと刻んでおく。
- (2) 鍋に片くり粉を除くあんの材料を煮立てて、豚肉を入れほぐしたあと、あくを取りながら煮る。火が通ったら、水少々で溶いた片くり粉を加えとろみをつけ、器に盛ったかぼちゃにかける。

暑い日の夕食に冷や奴、カラフルな野菜サラダをたっぷり添えられたらいかがでしょうか……………。

この歳になって本を読むこと以外、これといった趣味もなく、子供が三元から飛び立ってしまったら、私は毎日何をして過ごそうか。カルチャースクールという柄でもないし、自分が一体何がしたいのかも分からなかった四十歳の頃。今から始めておかないと歳をとってからでは何事にも億動になってしまうからと考え考え過ぎて来た十年余。子供達は巣立っていき、両親を見送り、いよいよ「自分のとき」がきた。さあどうしよう。と、心の中の空室に、いつの間にか住みついていった老後問題。主人の両親、私の両親、それぞれの晩年の様子を思うとき、私達夫婦はあのように大勢の子供達に囲まれてくらす事は事情が許さない。それならば、自分で、何とかしよう。という発想からたどり着いたのが「時間貯蓄」。この歳になってやっと長い間探し求めていたものに出あえたのです。これからは、もう迷う事なく前進あるのみです。腰痛と仲良くしながら、健康に気をつけて。

山田 宏子